corega®

FastEther CB-TX

取扱説明書・Windows®98 編

PN J613-M0433-00 Rev.A 980703

この度は、「corega FastEther CB-TX」アダプターをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品をWindows98のもとで正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、「corega FastEther CB-TX 取扱説明書」（保証書）とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書に記載の内容は、Windows98の事前評価版をもとに作成されています。そのため、手順などが正式版のWindows98におけるものとは異なっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

ここに挙げる手順は一例であり、お客様の環境によっては手順や表示画面が異なることがあります。本書の画面例はAT互換機/PC98-NXのものです。PC-9821シリーズの場合は、ドライブ名やディレクトリ名が異なりますのでご注意ください。本書では、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROMの各ドライブ名について、AT互換機/PC98-NXではそれぞれ「A:」、「C:」、「D:」、PC-9821シリーズでは「B:」、「A:」、「Q:」と仮定しています。

目次

1　Windows98 へのインストール 3
　1.1　用意するもの 4
　1.2　ドライバーの新規インストール 4
　1.3　インストールの確認とアダプターの設定 10
　1.4　ドライバーの更新 13
　1.5　ドライバーの削除 17
　1.6　ドライバーの再インストール 18
2　活線挿抜に関するご注意 19
　2.1　PC カードの挿入 19
　2.2　PC カードの取り外し 19
　2.3　使用するスロットの変更 20
3　ドライバーのトラブル 21
　3.1　本製品を認識しない 21
　3.2　デバイスマネージャで「×」マークが付く 21
　3.3　PCMCIA コントローラが正しく表示されない 22
　3.4　リソース値重複の回避 23
4　ネットワークのトラブル 24
　4.1　LINK LED は点灯していますか？ 24
　4.2　LINK LED は点灯しているが 24
　4.3　本製品の詳細設定 25
おことわり 28

1 Windows98 へのインストール

本製品のドライバーをWindows98にインストールする手順は、お客様の環境によって異なります。次の図を参考にして、正しい手順でインストールを行ってください。

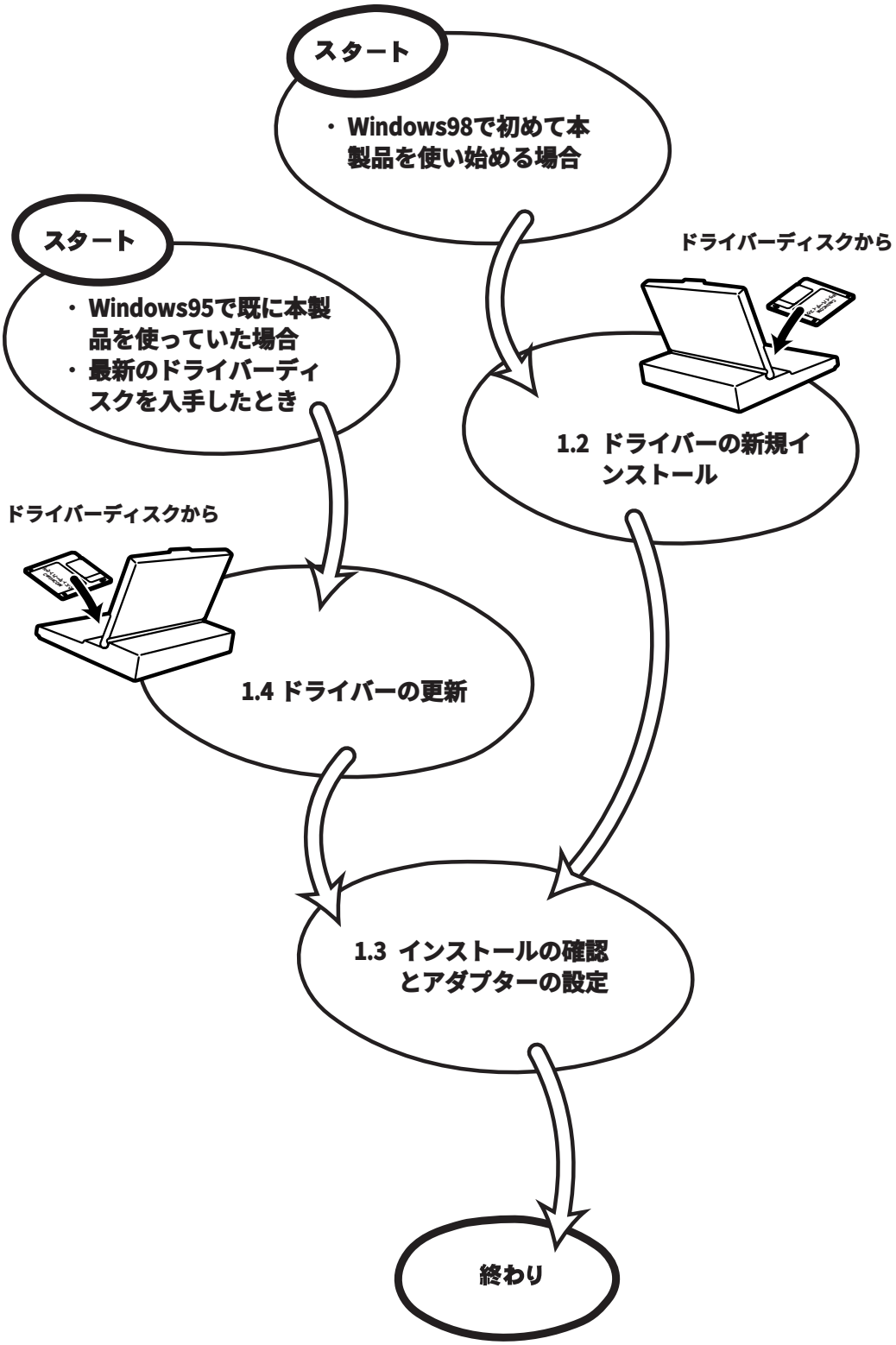

図 1.0.1

■Windows98で初めて本製品を使い始める場合(例えば、次に挙げるような場合)は、まず「**1.2 ドライバーの新規インストール**」を実行し、その後「**1.3 インストールの確認とアダプターの設定**」に進んでください。

- 新規インストールした Windows98 に本製品のドライバーをインストールする場合
- プリインストール版 Windows98 に本製品のドライバーをインストールする場合
- Windows95からWindows98にアップグレードしたが、Windows95では本製品のドライバーをインストールしておらず、Windows98 で初めて本製品を使い始める場合

■また次のような場合は、「**1.4 ドライバーの更新**」で述べる手順にしたがい、必ずドライバーの更新を行ってください。

- すでに Windows95 で本製品を使用している状態から Windows98 にアップグレードした場合(下の注を参照)
- 弊社のホームページ(**http://www.corega.co.jp/**)から最新のドライバーを入手した場合

注意

Windows95 からアップグレードした際に間違ってインストールされる「PCI Fast Ethernet DEC 21143 Based Adapter」用ドライバーは、「デバイスマネージャ」などでは一見正常に動作しているように表示されますが、実際には正しく動作しませんのでご注意ください。

1.1 用意するもの

- corega FastEther CB-TX アダプター、メディアケーブルなど
- コンピュータ(CardBus対応PCカードスロット付き、Windows98インストール済み)
- ドライバーディスク(本製品に付属)
- Windows98 の CD-ROM

警告

Windows98が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわち**プリインストール版**である場合は、Windows98のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1.2 ドライバーの新規インストール

本製品のドライバーを Windows98 に新規インストールする手順を説明します(ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。本製品のドライバーは、付属のドライバーディスクからインストールします。

(1) 本製品をコンピュータの PC カードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。

(2) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。

(3) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。

警告

CardBus非対応のPCカードスロットには、絶対に本製品を挿入しないでください。CardBus対応PCカードでは、CardBus非対応機種のPCカードスロットに誤ってカードを挿入することを防ぐため、カードの形状を工夫してあります。そのため、無理に挿入しようとするとカードまたはPCカードスロットを破損させる恐れがありますので、ご注意ください。

(4) Windows98 によって PC カードの挿入が検知され、「新しいハードウェア」ダイアログに続いて、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。「次へ>」をクリックしてください。

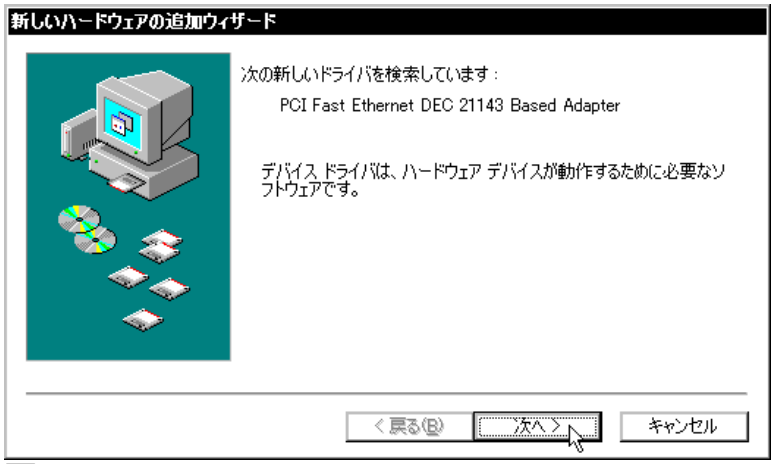

図 1.2.1

図1.2.1で表示されるデバイス名は、AT互換機/PC98-NXでは「PCI Fast Ethernet DEC 21143 Based Adapter」、PC-9821 シリーズでは「PCI Ethernet Controller」となります。

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。

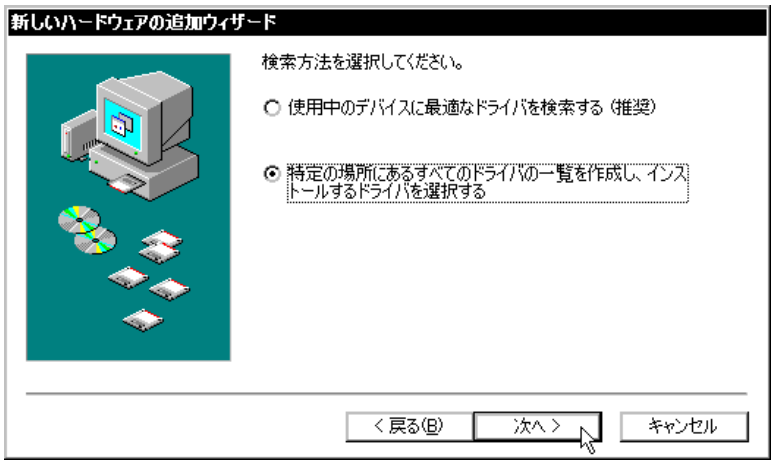

図 1.2.2

(6) ここでは、AT互換機/PC98-NXとPC-9821シリーズで手順が異なります。AT互換機/PC98-NXは**(a)**へ、PC-9821シリーズは**(b)**へお進みください。

(a) AT互換機/PC98-NXの場合 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。次ページの手順(7)へお進みください。

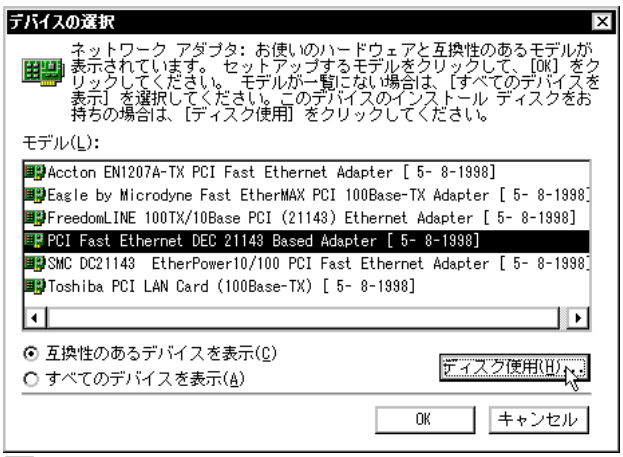

図 1.2.3

(b) PC-9821シリーズの場合 次のダイアログが表示されます。一覧から「ネットワークアダプタ」を選択し、「次へ>」をクリックしてください。

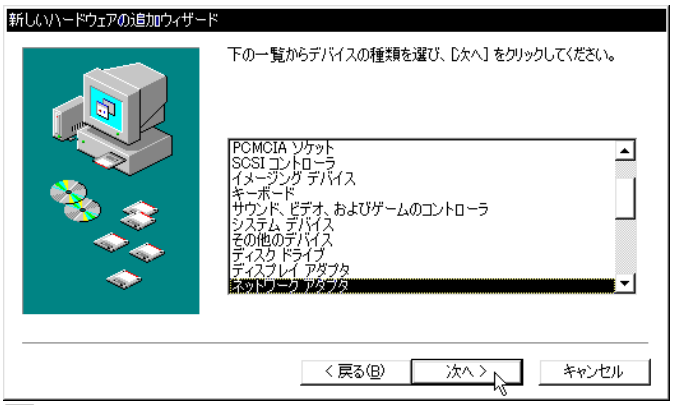

図 1.2.4

次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください。

図 1.2.5

(7) 本製品付属のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」(PC-9821では「B:\windows.98」)と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

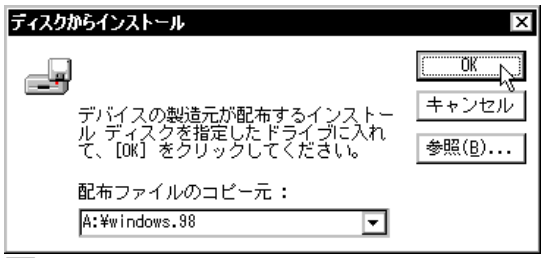

図 1.2.6

(8) Windows98 によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、AT互換機/PC98-NXの場合は図1.2.3、PC-9821シリーズの場合は図1.2.5の画面に戻りますが、図1.2.3(図 1.2.5)が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

図 1.2.7

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」(PC-9821 では「B:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」)となっていることを確認し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。

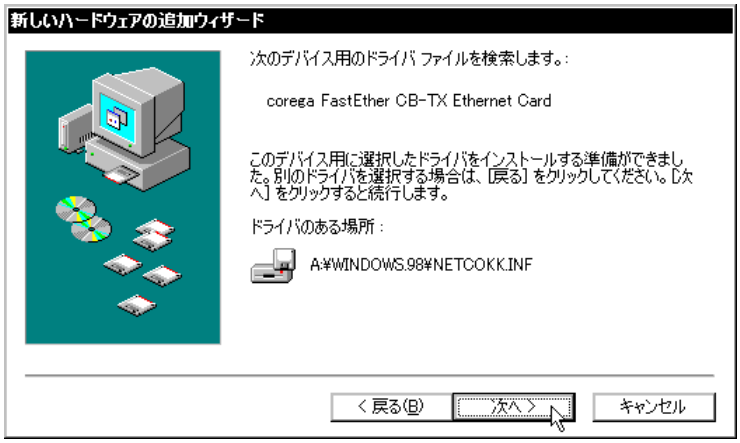

図 1.2.8

(10) 作業中に、ドライバーディスクやCD-ROMの挿入を要求するダイアログが表示される場合があります。どれが表示されるかは、ご利用の環境によって異なります。

◆次のダイアログが表示される場合は、ドライバーディスクがフロッピードライブに正しく挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

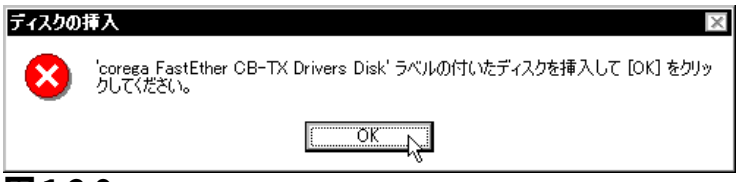

図 1.2.9

◆次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「A:\windows.98」(PC-9821では「B:\windows.98」)と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

図 1.2.10

◆次のダイアログが表示される場合は、Windows98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに正しく挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。

図 1.2.11

◆次のようなダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:\WIN98」(PC-9821 では「Q:\WIN98N」)と入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。

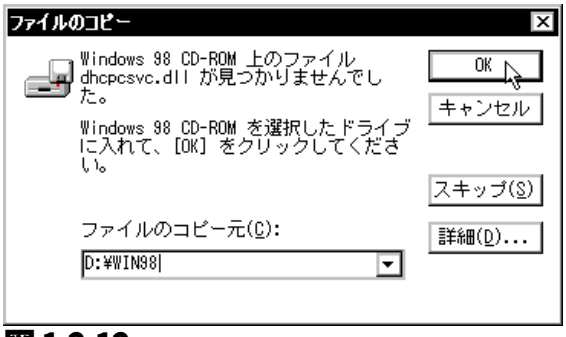

図 1.2.12

(11) ドライバーディスクから本製品のドライバーがインストールされ、続いてネットワークを使用するために必要なWindows98のファイルが、Windows98のCD-ROMからハードディスクにコピーされます。

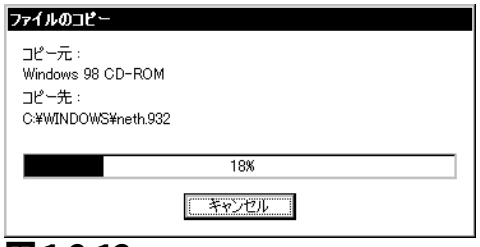

図 1.2.13

(12) 次のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてください。

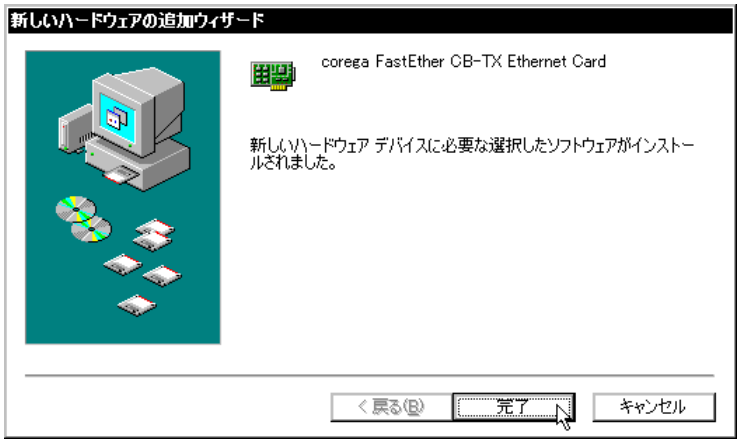

図 1.2.14

(13) 次のダイアログが表示されます。フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックして、コンピュータを再起動してください。

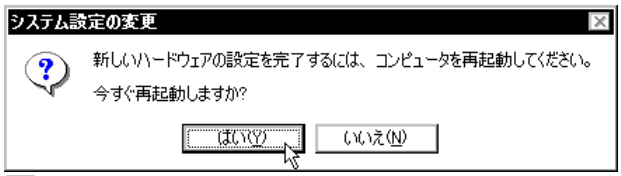

図 1.2.15

注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN環境でTCP/IPをご使用になる場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

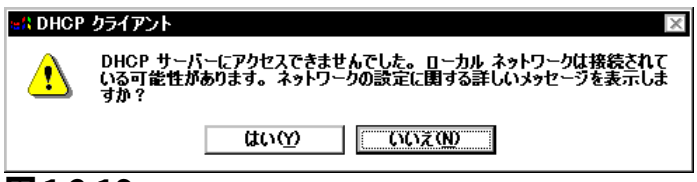

図 1.2.16

(14) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

1.3 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

1. デバイスマネージャによるインストールの確認

(1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

図 1.3.1

(2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「PCMCIAソケット」の下にご使用のコンピュータにインストールされている CardBus 対応 PCMCIA コントローラの名前が、「ネットワークアダプタ」の下に「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」が表示されます。

図 1.3.2

PCMCIA コントローラの名称は、ご使用のコンピュータ機種によって異なります。前記のダイアログは一例です。また、CardBus コントローラは必ず同じ名称のものが 2 列以上表示されます。

本製品のアイコンに「×」「？」「！」などのマークが付いていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

(3) 「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」→「全般」と進みます。「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

図 1.3.3　デバイスの状態

(4) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows98によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

図 1.3.4　リソースの確認

2. PC カード(PCMCIA)による確認

「コントロールパネル」の「PCカード(PCMCIA)」をダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」が表示されていることを確認します。

図 1.3.5　ソケットの状態

3. ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。下記の図1.3.6はあくまでも設定例です。設定に関する詳細は、Windows98のネットワークの設定に関する参考書を参照していただくか、システム管理者にご確認ください。

図 1.3.6　ネットワークの設定

1.4 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したときや、Windows95 から Windows98 へアップグレードした場合に実行します。

注意

ここでは、最新のドライバーディスクを入手した場合を例に説明しています。Windows95 からアップグレードした場合も更新の手順は同じですが、本ページの手順(2)で選択するデバイスの名称、および、図1.4.1～1.4.3の画面に表示されるデバイス名が「PCI Fast Ethernet DEC 21143 Based Adapter」となりますのでご注意ください。

注意

ドライバーの新規インストール時に、「新しいハードウェアの追加ウィザード」の指示にしたがって、ドライバーディスクを使わずに Windows98 の CD-ROM からドライバーをインストールした場合も、Windows95からアップグレードしたとき(4ページの注を参照)と同様に「PCI Fast Ethernet DEC 21143 Based Adapter」用ドライバーがインストールされます。本製品はこのドライバーでは正しく動作しませんので、以下の手順にしたがって、必ず正しいドライバーに更新してください。

(1) Windows98 の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れてください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどります。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてください。

図 1.4.1

(3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックしてください。

図 1.4.2

(4) 「デバイスドライバの更新ウィザード」が表示されます。「次へ>」ボタンをクリックしてください。

図 1.4.3

(5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。

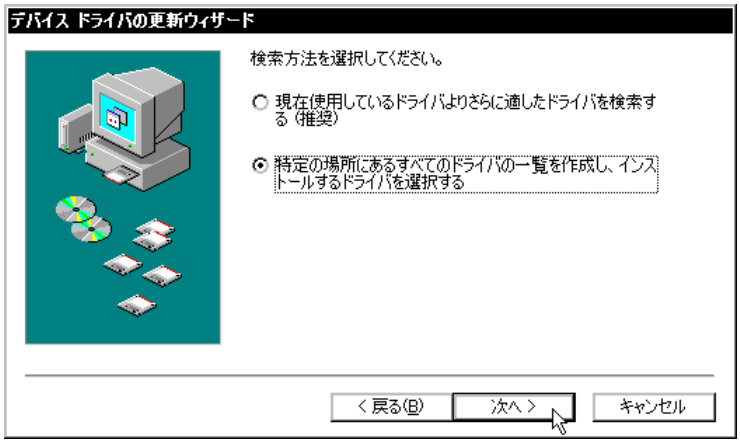

図 1.4.4

(6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをクリックします。

図 1.4.5

(7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピードライブに入れ、次のダイアログで「A:\windows.98」(PC-9821では「B:\windows.98」)と入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

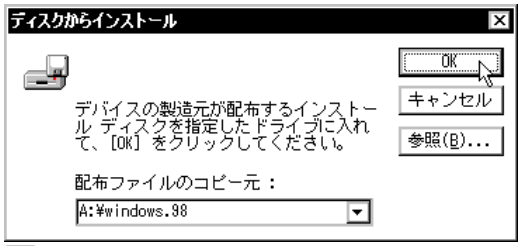

図 1.4.6

(8) Windows98によってドライバーディスクが走査され、次のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。ダイアログが閉じ、図1.4.5の画面に戻りますが、図1.4.5が自動的に閉じるまでそのまましばらくお待ちください(1～2分)。

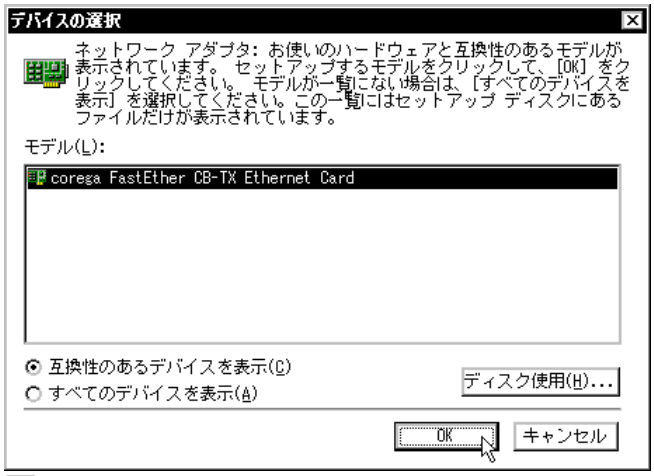

図 1.4.7

(9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」（PC-9821 では「B:\WINDOWS.98\NETCOKK.INF」）となっていることを確認し、「次へ >」ボタンをクリックしてください。

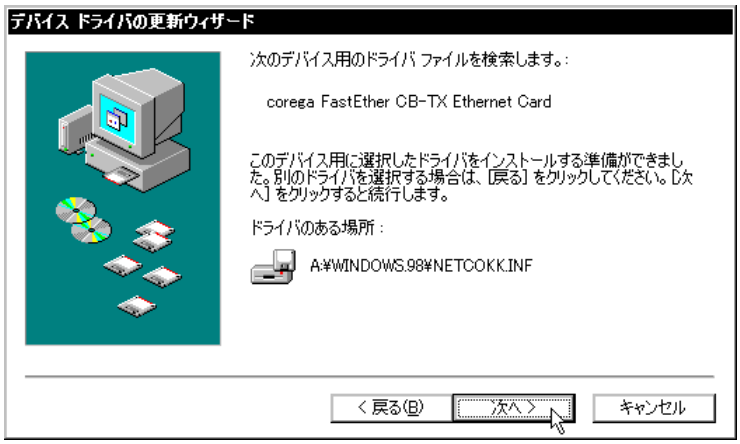

図 1.4.8

(10) ドライバーディスクや CD-ROM の挿入を要求するダイアログが表示される場合は、「1.2 ドライバーの新規インストール」の手順(10)を参考にしてください(8ページ)。どちらが表示されるかは、ご利用の環境によって異なります。

(11) ドライバーディスクから本製品のドライバーがインストールされ、続いて本製品のドライバー以外のファイルが CD-ROM からハードディスクにコピーされます。

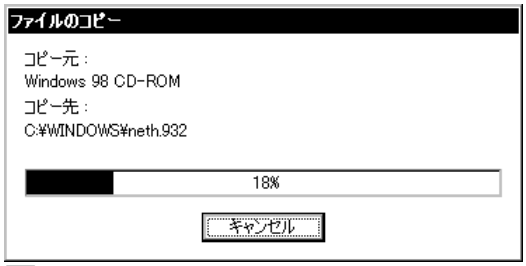

図 1.4.9

(12) 次のダイアログが表示されたら、「完了」をクリックしてください。

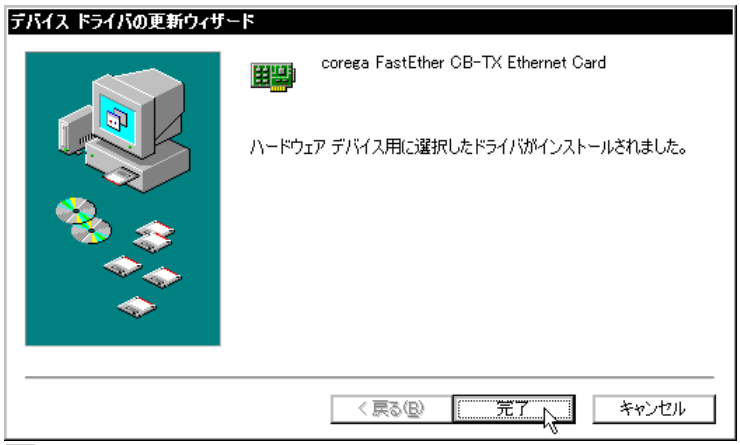

図 1.4.10

(13) フロッピードライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」をクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

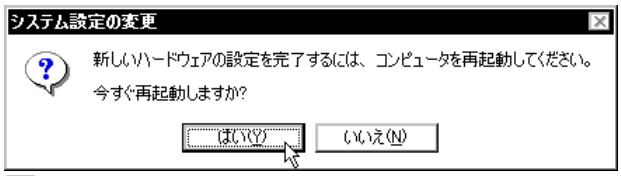

図 1.4.11

1.5 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどります。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、その下に表示される「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」を選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。

図 1.5.1　ドライバーの削除

(2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 1.5.2　デバイス削除の確認

(3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

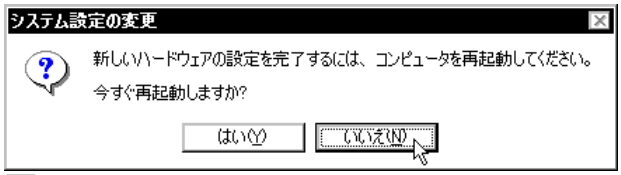

図 1.5.3

(4) 「ネットワークアダプタ」の下から本製品のアイコンが消えていることを確認し、「閉じる」をクリックしてください。

図 1.5.4　削除後のデバイスマネージャ

(5) Windows98を終了し(「スタート」→「Windowsの終了」→「電源を切れる状態にする」→「OK」)、コンピュータの電源をオフにします。

(6) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押し、本製品を取り外してください。次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

1.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

(1) 「1.5 ドライバーの削除」の手順にしたがい、本製品のドライバーを削除します。

(2) 「1.2 ドライバーの新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

2 活線挿抜に関するご注意

2.1 PC カードの挿入

Windows98は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入することができます。

(1) 「corega FastEther CB-TX 100/10M LAN PC Card」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、手応えがあるまで押し込んでください。

コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

(2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows98 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

(3) 「PC カード(PCMCIA)のプロパティ」を表示させると(「コントロールパネル」→「PC カード(PCMCIA)」)、「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」の名前が表示されます(図 1.3.5 参照)。

2.2 PC カードの取り外し

Windows98は活線挿抜をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。

以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows98ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

(1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnetやデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

(2) タスクバーの PC カードアイコン(通常デスクトップ右下)をクリックします。

図 2.2.1 PC カードアイコン

(3) 「corega FastEther CB-TX Ethernet Cardの中止」バーが表示されたらバーをクリックしてください。

図 2.2.2

(4) 次のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックしてください。

図 2.2.3

(5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

メディアケーブルを引っ張ってPCカードを引き抜くことは絶対におやめください。本製品、メディアケーブルの故障の原因となります。

2.3 使用するスロットの変更

複数の PC カードスロットを持つコンピュータ機種では、ドライバーをインストールした PC カードスロット以外に本製品を挿入すると、CardBus（32bit PC カード）の仕様により再度ドライバーのインストールが行われます。この場合、新しくインストールされたアダプターに対応するプロトコルの設定が再度必要となりますのでご注意ください。

また、インストール完了後、図1.3.6の「ネットワークの設定」画面（「コントロールパネル」→「ネットワーク」）に、「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」アイコンが複数表示されるようになります。

これは異常ではありませんが、どちらのアイコンがどのPCカードスロットに対応したものであるかが表示されません。混乱を避けるため、本製品はできるだけ同じPCカードスロットでご使用ください。

3 ドライバーのトラブル

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

注意

以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

3.1 本製品を認識しない

「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

1 正常にインストールできない

2 PC カードが検出されない

3「ネットワークアダプタ」の項目がない

4「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった

5 デバイスマネージャで「！」「？」マークが付く

「3」や「4」のような障害は、ドライバーインストール中に行われる Windows98 関連ファイル(netapi.dllなど)のインストールをキャンセルしてしまったなどの原因が考えられます。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

(1) 不正にインストールされた「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。

(2) 「1.5 ドライバーの削除」の手順(2)に進みます。

3.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

デバイスマネージャの「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

(1) 「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」をクリックし、「全般」タブを表示します(図 1.3.1 ～ 1.3.3 参照)。

(2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

3.3 PCMCIA コントローラが正しく表示されない

本製品のドライバーは、PCMCIAコントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIAコントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。

ご使用のコンピュータのPCMCIAコントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順でPCMCIAコントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後(下記参照)、以下の手順を実行してください。

このようなときは、Windows98のシステムリソースレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」とたどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。

CardBus対応のコンピュータ機種には、使用するPCカードに応じて2種類(16bit/32bit)のPCMCIAコントローラを切り替えなければならないものがありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルでご確認いただくか、PCメーカーにお問い合わせください。

「1.3 インストールの確認とアダプターの設定」の「1. デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示されるPCMCIAコントローラのアイコンに「？」、「！」のマークが付いている場合は、次の手順を実行してみてください。

(1) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」と進みます。

(2) 「PCMCIA ソケット」をダブルクリックし、その下に表示される PCMCIA コントローラを選択して、「削除」をクリックしてください。

(3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

(4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。

(5) Windows98 を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。

(6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード(PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。

(7) 「ハードウェアの追加」アイコン(コントロールパネル)をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ >」をクリックしてください(「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります)。

(8) 「はい(通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く 2 つの質問に対して「次へ >」をクリックして進みます。最後に「完了」をクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。

(9) 続いて、自動的に「PCカード(PCMCIA)ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

3.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98に予め登録(「予約」と呼びます)し、その値が他のPlug & Play対応デバイス(本製品を含む)によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

(1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値(インタラプト(IRQ)、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス(DMA))を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

(2) 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」→「コンピュータ」→「コンピュータのプロパティ」パネル→「リソースの予約」と進みます。

(3) 該当する項目を選択し、「追加」をクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

4.1 LINK LED は点灯していますか？

LINK LEDは、ハブ（またはスイッチ）と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LEDは、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LEDが点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。また、クロスケーブルで2台のコンピュータを接続している場合も、正しく接続されていれば両方の LINK LED が点灯します。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTP ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「**ストレートタイプのケーブル**」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート（カスケードポート）を持つものがあります。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「**MDI-X**」や「**to pc**」に設定しなければなりません（通常のハブのポートとして設定する）。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。
- ハブの通信速度、カードの通信速度を確認してください。次の「4.3 本製品の詳細設定」を参考にして、対向機器に合った速度を選択してください。

4.2 LINK LED は点灯しているが ...

LINK LEDは点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは、最長 **100m** と規定されています。

- 正しいUTPケーブルを使用していますか？100BASE-TXでは「**カテゴリー5**」、10BASE-Tでは「**カテゴリー3**」以上のUTPケーブルを使用しなくてはなりません。

- UTPケーブルに問題はありませんか？ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換してテストしてみてください。

4.3 本製品の詳細設定

本製品は、基本的に出荷時の設定で動作しますが、使用環境によっては追加の設定が必要となることがあります。その場合は、以下の手順にしたがって詳細設定を行ってください。

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「現在のネットワークコンポーネント」から「corega FastEther CB-TX Ethernet Card」を選択して「プロパティ」ボタンをクリックします。「corega FastEther CB-TX Ethernet Cardのプロパティ」が表示されるので、「詳細設定」タブをクリックしてください。
「詳細設定」タブには多くの設定項目が用意されていますが、通常は次の4項目のみ設定してください。他の項目については出荷時設定のままご使用ください。

- **Store And Forward:**
  本カードが送信を開始するタイミングを指定します。通常は、**Enabled**（初期設定）でご使用ください。

図 4.3.1　Store And Forward

Disabledを選択した場合は**100Mbps Transmit Threshold / 10Mbps Transmit Threshold**（次項参照）の設定が有効になります。**Enabled**を選択した場合は、送信データがすべて送信FIFOバッファにたまった時点でパケットの送信が開始されます。

- **100Mbps Transmit Threshold / 10Mbps Transmit Threshold:**
  Store And Forwardが**Disabled**のときに意味をもつパラメータで、送信開始のしきい値を指定します。通常は、**初期値(10M:96bytes、100M: 128bytes)**のままでご使用ください。

  例えば、**128bytes**を選択した場合、送信FIFOバッファに128バイトがたまった時点でパケットの送信が開始されます。手動で数値を特定する場合は、**72、96、128、160bytes**(10Mbps)、**128、256、512、1024bytes**(100Mbps)の4つの選択肢の中から適当なものを選択してください。

図 4.3.2　100Mbps Transmit Threshold

図 4.3.3　10Mbps Transmit Threshold

- **Connection Type:**
  本製品の通信速度(10/100Mbps)と通信モード(Full duplex/Half duplex)を選択します。
  初期設定は **AutoSense** です。

図 4.3.4　Connection Type

AutoSense
Auto-negotiation機能を有効にします。この項目を選択した場合、対向機器もAuto-negotiationをサポートしていれば、実現可能な最高の速度とモードが使用されます。ただし、対向機器がAuto-negotiationをサポートしていない場合は、通信速度のみ自動的に検出され、検出された速度のHalf duplex(半2重)モードが使用されます。Auto-negotiation をサポートしていない対向機器との間で全 2 重通信を行うには、「100BaseTx Full_Duplex」(100Mbpsの場合)か「10BaseT Full_Duplex」(100Mbpsの場合)を選択しなければなりません。

100BaseTx
100BASE-TX の Half duplex モードに設定します。

100BaseTx Full_Duplex
100BASE-TX の Full duplex モードに設定します。

10BaseT
10BASE-T の Half duplex モードに設定します。

10BaseT Full_Duplex
10BASE-T の Full duplex モードに設定します。

おことわり

- 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1998 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。
イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

1998 年 7 月 3 日　　Rev.A　　初版